



後期開始とともに、ダイコン組の学生が管理作業を始めました。

夏休み中に最初の実習、播種や苗の植付を行い、後期の開始とともに管理作業に臨んでいます。最初の実習時は高温と乾燥で悩まされる状況でした。その後、降雨があり、気温の高さと相まって例年になく雑草が多く発生しました。特に1回目の実習から時間が空いた学生は自分の畑を見て、雑草の多さに閉口しています。



高温と乾燥で経過した今夏。先日、川越いもの生産者も今年の出来に懸念の声を新聞紙上で目にしました。今夏の気象はサツマイモの生育にも少なからず影響を与えています。

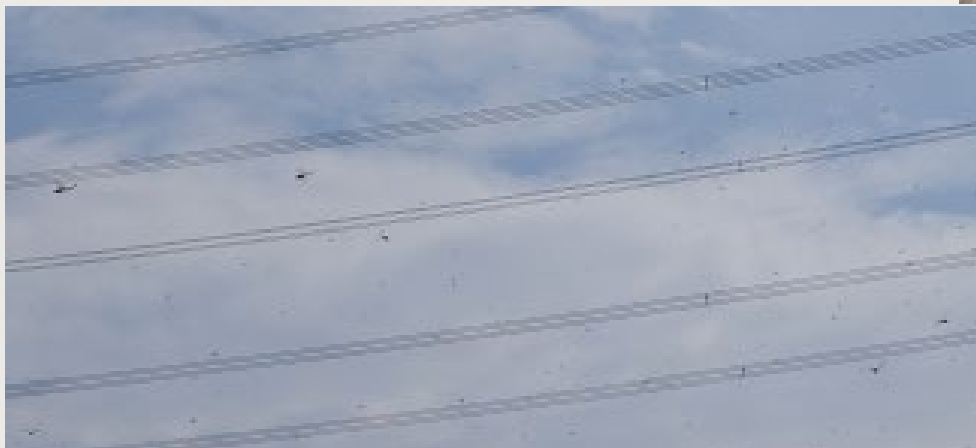
試し掘りでは小ぶりの芋が多く、またたくさんの細根が認められ、水を求めていた様子が窺えました。そして、サツマイモを作付けたマルチの中の土は乾燥傾向が明瞭でした。



ダイコン組が作付けをしていると、播種・定植を終えた畑に複数のキアゲハが舞い降りてきました。

土の上にとまり、何やらしていました。また、舞い降りる際は別の個体にモーションを掛けているように見えました。数個体が乱舞している様子を何度も見かけました。

ダイコン組はキャベツ、ブロッコリーを作付けるので例年はモンシロチョウが飛んできました。しかし、今年は暑さの影響か、その姿は稀でしたが、キャベツやブロッコリーはアオムシに加害されました。



猛暑の夏もようやく終止符が打たれたようです。秋空の下、ここ数日、ものすごくたくさんのアキアカネが畑の上を舞います。ほんのわずかの間で、どこかへと飛び去っていきます。どこからか現れて、群れて飛んでいます。写真に収めるにはさすがに相手が小さく過ぎるようで、ゴマ粒のようにも見えません。